

東京都台東区立東上野乳児保育園の指定管理者候補者の選定結果について

1 対象施設

名称：東京都台東区立東上野乳児保育園

所在地：台東区東上野四丁目2番3号

施設概要：床面積 678.08㎡

鉄筋コンクリート造 8階建ての1階及び2階の一部

定員60名（0～2歳児）

事業内容：保育を必要とする0歳～2歳児の保育を行う。

2 指定管理者候補者

名称：社会福祉法人 康保会

所在地：台東区日本堤二丁目7番1号

代表者：理事長 遠藤 正明

3 指定期間

令和2年4月1日から令和7年3月31日までの5年間

4 選定の経過の概要

6月13日 子育て・若者支援特別委員会（指定管理者の選定方法の報告）

8月23日 指定管理者指定申請書受理

9月6日 第1回審査会【施設の視察及び審査基準の決定】

10月28日 第2回審査会【書類審査及び選定】

5 選定手続き

(1) 選定方法

台東区指定管理者制度運用指針3(3)に規定する継続の場合の特例により、現指定管理者を公募によらず選定する。

(2) 公募によらない選定とした理由

- ① 保護者が安心して子育てができるよう、子育てや就労等個々の事情に配慮した支援を行うとともに、積極的な情報提供により保護者との信頼関係を築くなど、保育の充実と質の向上が図られている。
- ② 安全安心な保育環境の提供のため、園全体で安全管理に関する業務を一元管理しており、情報の収集やマニュアルの改訂、施設の安全点検など体系的な取り組みが実践されている。
- ③ 平成30年度に受審した第三者評価では、認可保育所としての適正な運営が確認でき、また、別途実施した保護者へのアンケート調査においても、運営全般に対し非常に高い支持が得られており、良好な園運営が実施されている。

(3) 審査手順

外部有識者と区職員による指定管理者再選定審査会を開催し、申請者から提出された事業計画書等について審査をした。区は、審査会の審査結果を踏まえ、指定管理者候補者を決定した。

6 審査会構成員

	氏名	役職等
委員長	堀内 一男	台東区次世代育成支援地域協議会副委員長
委員	伊藤 敦	中小企業診断士
委員	土橋 登	地域代表（台東区民生委員・児童委員）
委員	福田 健一	企画財政部経営改革担当課長

7 審査基準

基本項目	細目（審査内容）	審査の視点
①区の求める管理水準の確保	施設の設置目的に合致した管理運営	施設の管理運営に係る事業計画の内容が、施設の効用を最大限に発揮し、施設の設置目的に沿った成果が得られるものであるか。
		地域の住民や関係団体等との連携や協働による事業展開が図られるものであるか。
	施設の維持管理計画	具体的な維持管理計画となっているか。安全、快適等が念頭に置かれているか。
	区民の平等利用の確保	公の施設としての役割を踏まえ、区民の平等利用に留意されているか。
	人員の配置計画	施設の管理責任者、管理体制が明確に示されているか。
		施設の管理運営にあたる人員が合理的に配置されているか。
		有資格者などの配置は適切か。
労働法令の遵守や、雇用・労働条件への適切な配慮がなされているか。		
②サービス向上への取組み	利用者に対するサービスの向上	利用者の要望・意見・苦情等を把握し、改善に結びつける方策がとられているか。
		利用者のために有益な情報提供を適時かつ十分に行えるよう考えられているか。
		定期的に評価し、改善に結びつける方策がとられているか。
	自主事業	自主事業の内部が、施設の設置目的に合致しており、かつ利用者にとって魅力的なものとなっているか。

基本項目	細目（審査内容）	審査の視点
		現実的な収入見込みであるか。
		支出の抑制が図られているか。
	管理・運営についての提案	施設の現状を正しく認識し、今後の施設のあり方について具体的かつ適切な提案があるか。
		施設の利用者の増加や利便性を高めるための実施可能な提案があるか。
		施設の設置目的に応じた営業・広報活動に関する効果的な提案があるか。
③運営効率化への取組み	管理経費の効率化	効率的な運営を行うための実施可能な提案があるか。
		管理運営に支障が生じない、現実的な経費見積もりがなされているか。
		清掃、警備、設備の保守点検などの業務を再委託する場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫されているか。
		効率的な管理運営のための創意工夫が見られるか。
収入の確保	利用料金制を導入する施設については、利用料金の設定が適切であるか。	
	収入を増加するための実施可能な提案があるか。	
④危機管理・安全確保の取組み	緊急時対策・防災対策	緊急時の対応を適切に行うための対策が講じられているか。
	個人情報の管理	個人情報の管理体制は適切か。
⑤職員育成の取組み	職員の研修計画	職員の専門的知識・技能を向上させる職員研修計画となっているか。
⑥その他施設固有の性質等による項目	保育の内容	乳児を健全に保育するための保育内容となっているか。

8 審査結果

(1) 得点

審査項目		配点	指定管理者候補者
書類審査	①区の求める管理水準の確保	80点	65点
	②サービス向上への取組み	100点	82点
	③運営効率化への取組み	40点	32点
	④危機管理・安全確保の取組み	40点	32点
	⑤職員育成の取組み	20点	16点
	⑥その他施設固有の性質等による項目	40点	34点
合計		320点	261点
得点率%【合格基準70%以上】			81.6%

(2) 指定管理者候補者の主な提案内容

- ・子どもの最善の利益が実現される社会を目指すとの考え方を基本とし、一人ひとりの子どもの健やかな育ちを等しく保障することを目指し、幼児期の教育や保育、子育て支援の量的拡充や質の向上を進める。
- ・子どもを取り巻く環境やライフスタイルの変化により、保護者のニーズも多様化しており、産休明け保育や年末保育、延長保育を行うなど保育の充実を図ることで利用者の多様なニーズを受け止める。
- ・法人内の3園合同の「ふれあいルーム」開催を継続し、今後も家庭や地域における子育て支援を積極的に展開し、地域の人が気軽に訪問できる園づくりを行う。

(3) 審査会における主な意見

- ・現地視察における園児や職場環境の様子から、日々の保育や施設管理が的確に行われている印象を受ける。
- ・福祉サービス第三者評価の結果を見ると、保育園が保護者から高い支持を得られており、また、積極的な交流を通じて、地域との関係を深めようとしていることは評価できる。
- ・緊急時対策として、避難訓練の項目に火災、地震だけでなく、水害や不審者などあらゆる状況を想定したものを取り入れており、危機管理に対する積極的な姿勢が感じられる。

9 今後のスケジュール

令和2年 4月 指定管理者との協定締結
指定管理業務開始